

2012年(平成24年)10月期 中間決算説明資料

株式会社ソフトウェア・サービス

代表取締役社長

宮崎 勝

取締役経営管理部長

伊藤 純一郎

留意事項

このプレゼンテーション資料は、PDF形式で
当社ホームページ『財務/IR情報』に掲載します。

URL <http://www.softs.co.jp/ir/index.html>

このプレゼンテーション資料には、2012年7月11日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。国内外の経済環境・競争状況の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる場合があります。

※このプレゼンテーション資料の金額は切り捨てで表示しています。

アジェンダ

1. 会社紹介
2. 業界動向
3. 中間期(H23.11-H24.4)の状況
4. 平成24年10月期の業績見通し
5. トピックス
6. 質疑応答



1. 会社紹介

会社概要

- 社名 株式会社ソフトウェア・サービス
- 所在地 本店:大阪市淀川区西宮原1-7-38
本社:大阪市淀川区宮原4-2-30(平成20年5月19日移転)
- 設立 昭和44年4月
- 従業員 652名(平成24年4月30日現在)
- 資本金 847百万円(ジャスダック上場・平成16年2月20日)
- 事業内容 医療情報システム(専門特化)の開発・販売・指導・保守
- ユーザー 330ユーザー <うち電子カルテユーザー:257 >(H24.4現在)
- 特徴
 - ①専門特化
 - ②創造価値
 - ③自主独立⇒この3原則により「医療」「システム」の膨大なノウハウを蓄積し、「高品質・高機能」「適正価格」「顧客満足向上」を実現

2. 業界動向

平成24年度 診療報酬改定

■ 2025年のあるべき医療・介護の姿を
念頭に。

■ 診療報酬の総額をプラス0.004%とした。

⇒ 病院経営に、心理的にもプラス効果。

社会保障制度改革推進法案

- 負担均衡のとれた持続可能な
社会保障制度の確立。



- ⇒ 社会保障制度改革国民会議の設置。
- ⇒ 財源として、消費税を充てる。
- ⇒ 給付の抑制策については未定。

業界状況まとめ

■ 医療機関のIT化

- ・病院数8580(H24.3末)に対して、電子カルテ導入数は、2割程度。医療の効率化・コスト削減の点からも医療のIT化は必須であるが、利用者側の予算面等の理由もあり、一気にシステムの普及が進まない状況ではある。※病院数は厚生労働省「医療施設動態調査」より
- ・しかし、IT化に伴うカルテ情報の共有によるチーム医療の促進や、記録内容の充実といったことは、医療の質の向上に寄与するものであり、IT化の流れは変わらない。

3. 中間期(H23.11-H24.4)の状況

お知らせ

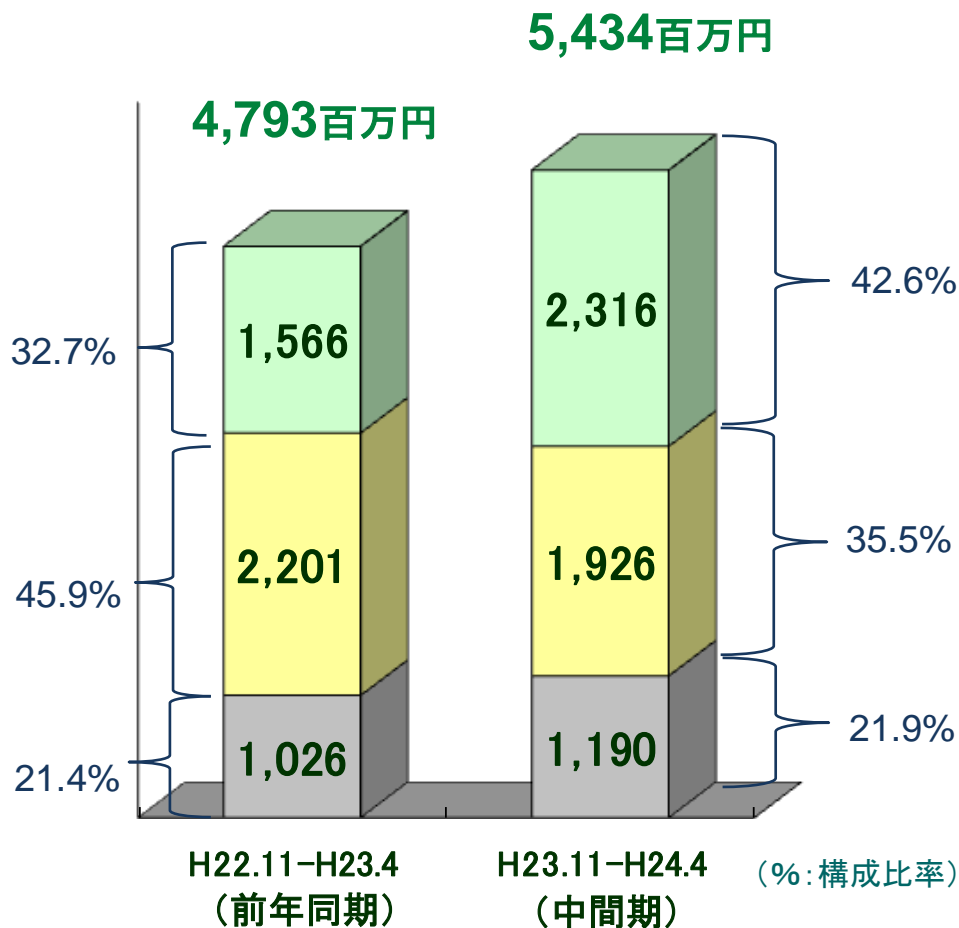
当社は平成23年10月期より決算期を4月30日から10月31日に変更しております。これに伴い、平成24年10月期第2四半期累計期間(平成23年11月1日から平成24年4月30日)に対応する期間として、前年同期(平成22年11月1日から平成23年4月30日)との比較を記載しております。

業績の概要(前年同期比較)

【単位:百万円】

	H22.11-H23.4 (前年同期)		H23.11-H24.4 (中間期)		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	4,793	100.0%	5,434	100.0%	+13.4%
売上総利益	1,387	29.0%	1,901	35.0%	+37.0%
営業利益	883	18.4%	1,515	27.9%	+71.4%
経常利益	922	19.2%	1,520	28.0%	+64.8%
当期純利益	542	11.3%	874	16.1%	+61.2%

売上高構成比(前年同期比較)



【総売上高】

640 百万円増 (+13.4%)

ソフトウェア売上高

750 百万円増 (+47.9%)

ハードウェア売上高

274 百万円減 (△12.5%)

保守売上高

164 百万円増 (+16.0%)

注()内は増減率

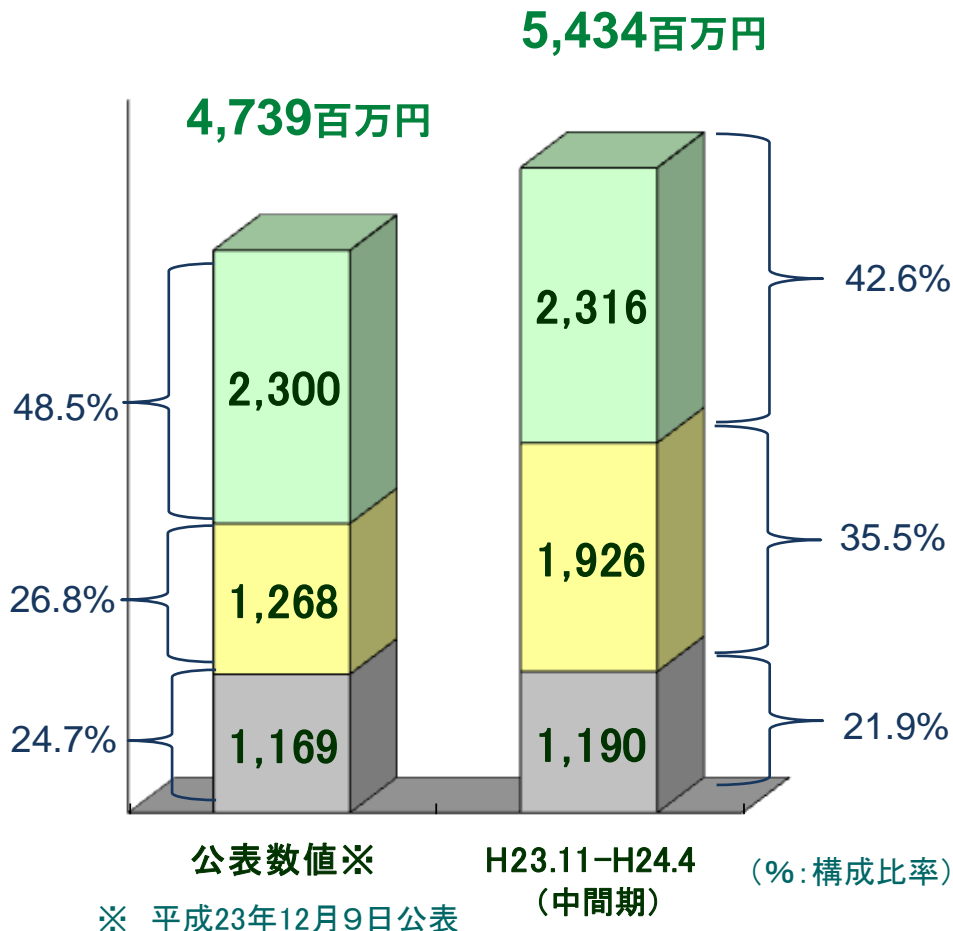
業績の概要(公表数値比較)

【単位:百万円】

	公表数値 ^(※1)		H23.11－H24.4 (中間期)		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	4,739	100.0%	5,434	100.0%	+14.7%
売上総利益	1,479	31.2%	1,901	35.0%	+28.5%
営業利益	1,040	22.0%	1,515	27.9%	+45.6%
経常利益	1,045	22.1%	1,520	28.0%	+45.4%
当期純利益	627	13.2%	874	16.1%	+39.5%

※1 平成23年12月9日公表

売上高構成比(公表数値比較)



【総売上高】

695 百万円 増 (+14.7%)

ソフトウェア売上高

15 百万円 増 (+0.7%)

ハードウェア売上高

658 百万円 増 (+51.9%)

保守売上高

21 百万円 増 (+1.8%)

注()内は増減率

中間期稼働病院

No	稼働月	病院名	病床数	オーダリング	e-カルテ
1	11月	明石はくほう会病院	87	導入済	●
2	11月	同仁病院	154	●	●
3	11月	屋久島徳洲会病院(徳洲会グループ)	139	●	●
4	11月	加戸病院	88	●	●(翌年2月)
5	12月	巽病院	75	●	—
6	12月	みどり病院	110	●	●
7	12月	調布東山病院	83	●	●
8	12月	箕面市立病院(公的) ※①	317	●	●
9	1月	長崎北徳洲会病院(徳洲会グループ)	108	●	●
10	1月	順天堂東京江東高齢者医療センター(準公的)	348	●	—
11	1月	川南病院(徳洲会グループ)	172	●	●

※① 弊社旧システムからのリプレイス稼働

中間期稼働病院

No	稼働月	病院名	病床数	オーダリング	e-カルテ
12	1月	美希病院	249	●	●
13	1月	南大阪病院	400	●	●
14	1月	大崎市民病院 鹿島台分院(公的)	70	導入済	●
15	2月	山本第三病院	270	●	●
16	2月	栗原中央病院(公的)	300	●	●
17	2月	大崎市民病院 鳴子温泉分院(公的)	130	導入済	●
18	2月	沖縄県立 北部病院(公的)	327	●	●
19	3月	宮古島徳洲会病院(徳洲会グループ)	80	●	●
20	3月	済生会泉尾病院(公的)	470	●	●
21	3月	非公開	131	導入済	●
22	4月	富山協立病院	174	●	●

中間期稼働病院

No	稼働月	病院名	病床数	オーダリング	e-カルテ
23	4月	笛吹中央病院	150	●	●
24	4月	相模原中央病院	169	●	●
25	4月	大崎市民病院 岩出山分院(公的)	40	●	●
26	4月	川口工業総合病院	199	●	●

診療所・クリニックはプロジェクトとしてカウントしていません。

<グループ病院の累計数> 平成24年4月末現在
徳洲会:47病院(全67病院)、セコムグループ:8病院(17病院)

4. 平成24年10月期の業績見通し

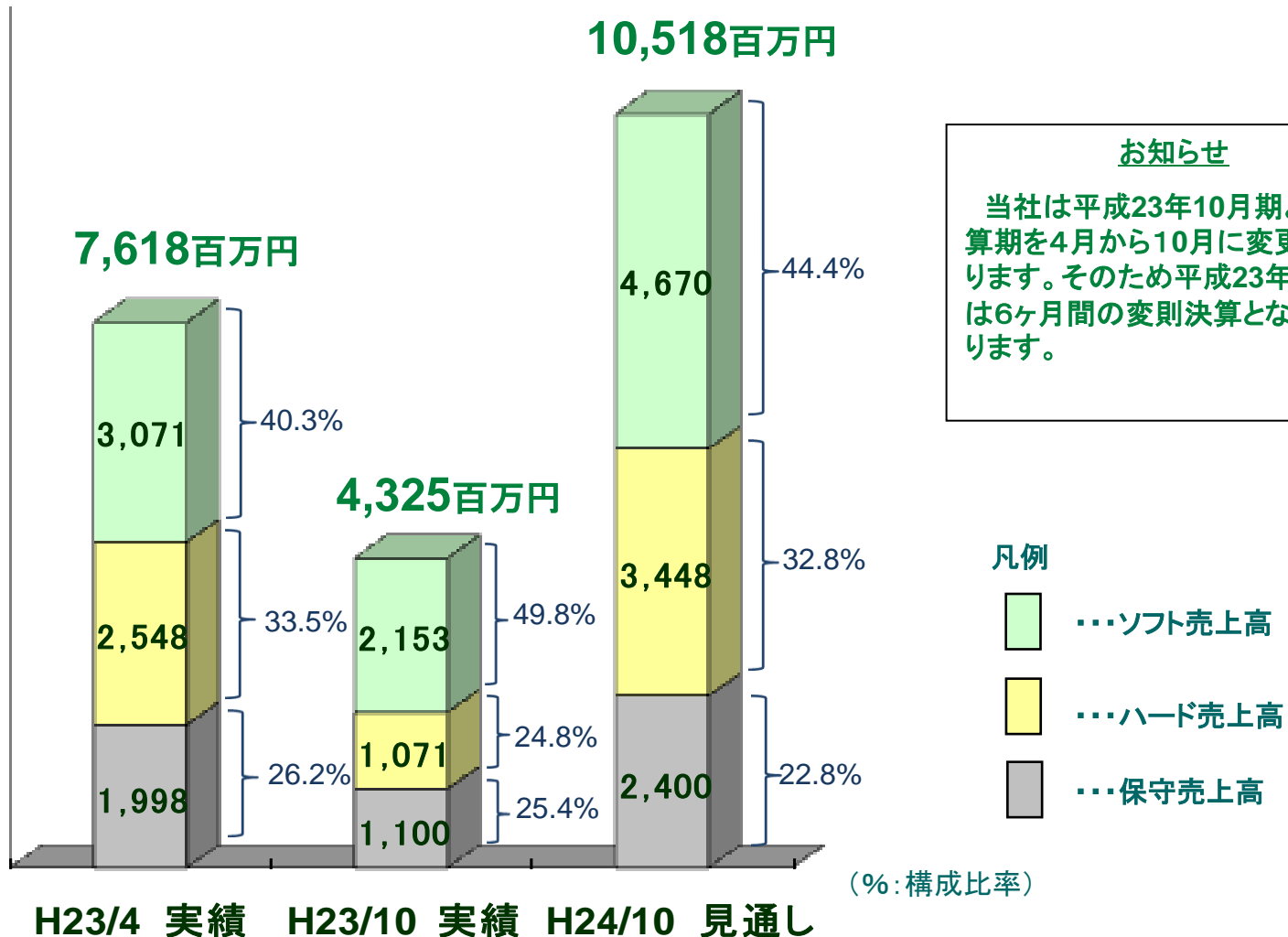
業績の概要(実績及び見通し)

【単位:百万円】

	H23/4 実績		H23/10 実績※		H24/10 見通し	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
売上高	7,618	100.0%	4,325	100.0%	10,518	100.0%
売上総利益	2,315	30.4%	1,362	31.5%	3,165	30.1%
営業利益	1,328	17.4%	886	20.5%	2,253	21.4%
経常利益	1,360	17.9%	892	20.6%	2,262	21.5%
当期純利益	797	10.5%	522	12.1%	1,357	12.9%
1株当たり 当期純利益	149円34銭	—	97円89銭	—	254円33銭	—

※当社は平成23年10月期より決算期を4月から10月に変更しております。そのため平成23年10月期は6ヶ月間の変則決算となっております。

売上高構成比(実績及び見通し)

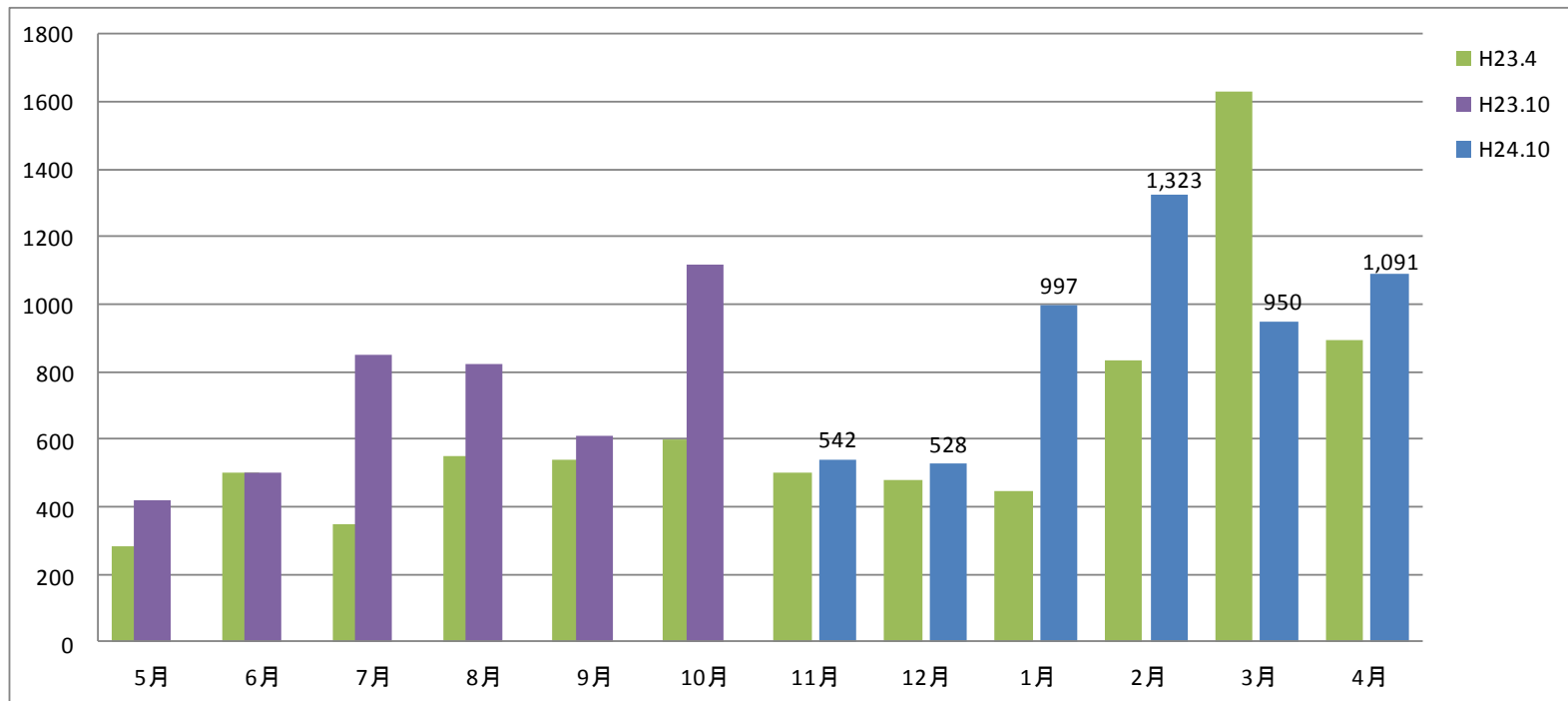


お知らせ
 当社は平成23年10月期より決算期を4月から10月に変更しております。そのため平成23年10月期は6ヶ月間の変則決算となっております。

- 凡例
- …ソフト売上高
 - …ハード売上高
 - …保守売上高

売上高の月次推移(実績)

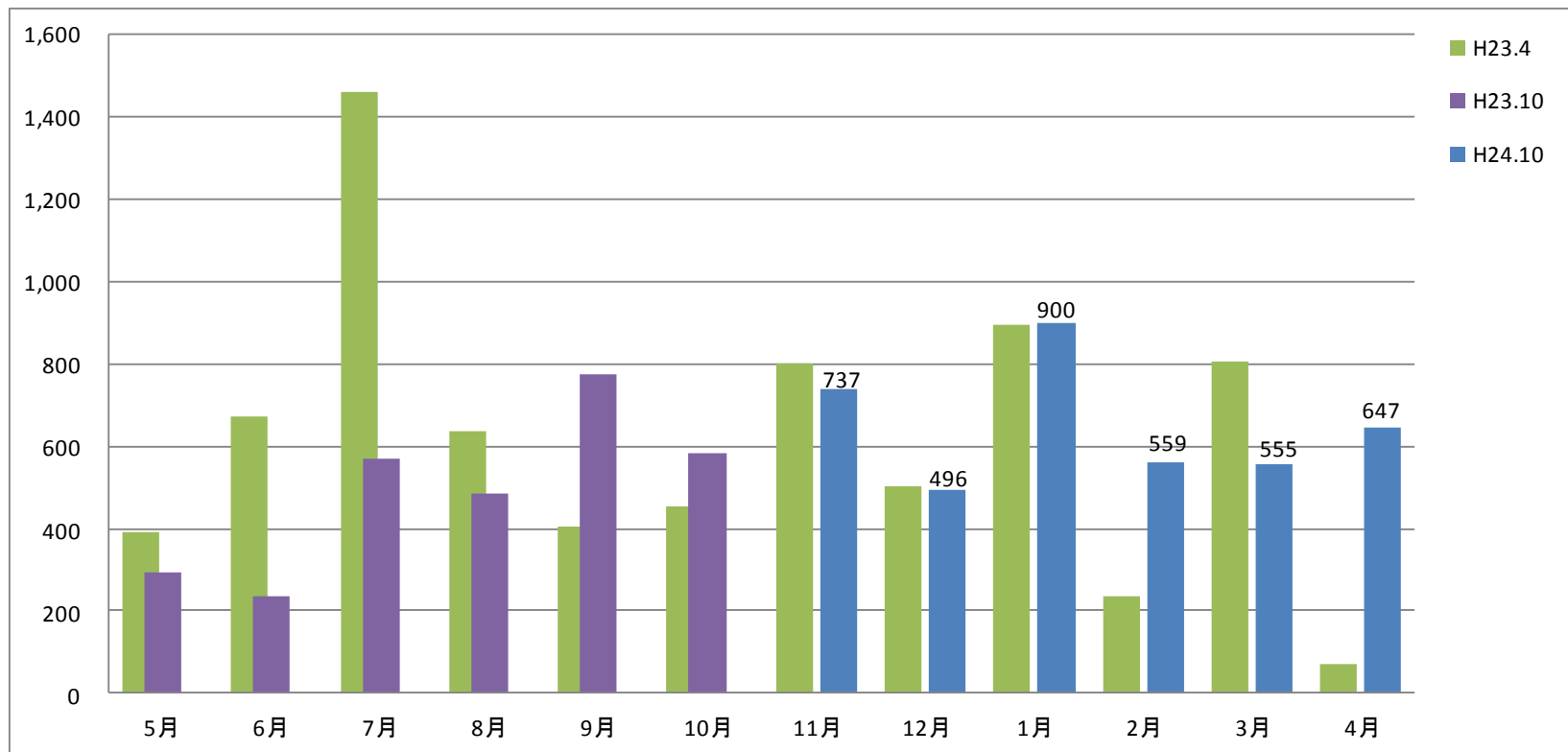
(単位:百万円)



当社は平成23年10月期より決算期を4月から10月に変更しております。
そのため平成23年10月期は6ヶ月間の変則決算となっております。

受注高の月次推移

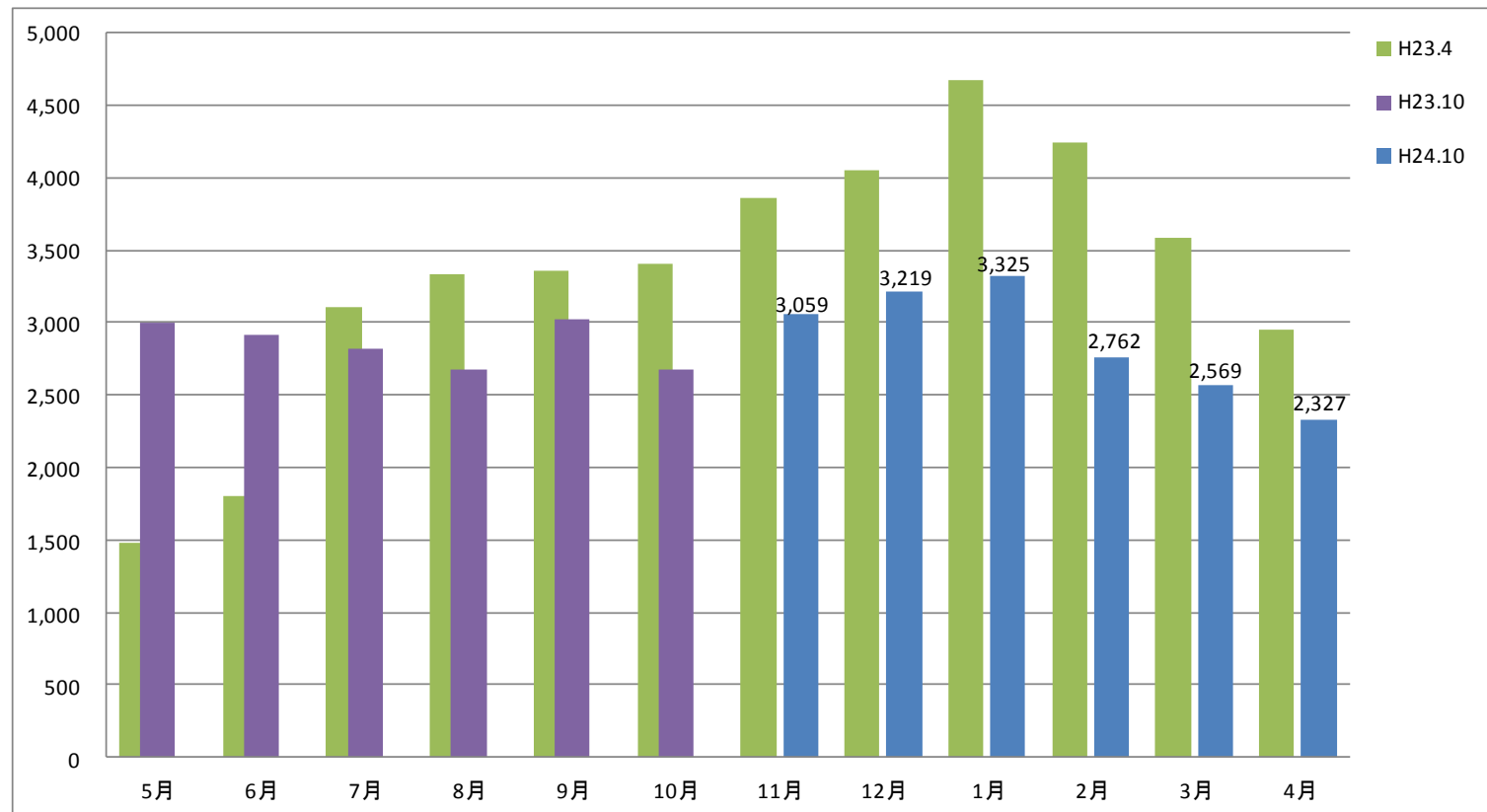
(単位:百万円)



当社は平成23年10月期より決算期を4月から10月に変更しております。
そのため平成23年10月期は6ヶ月間の変則決算となっております。

受注残高の月次推移

(単位:百万円)



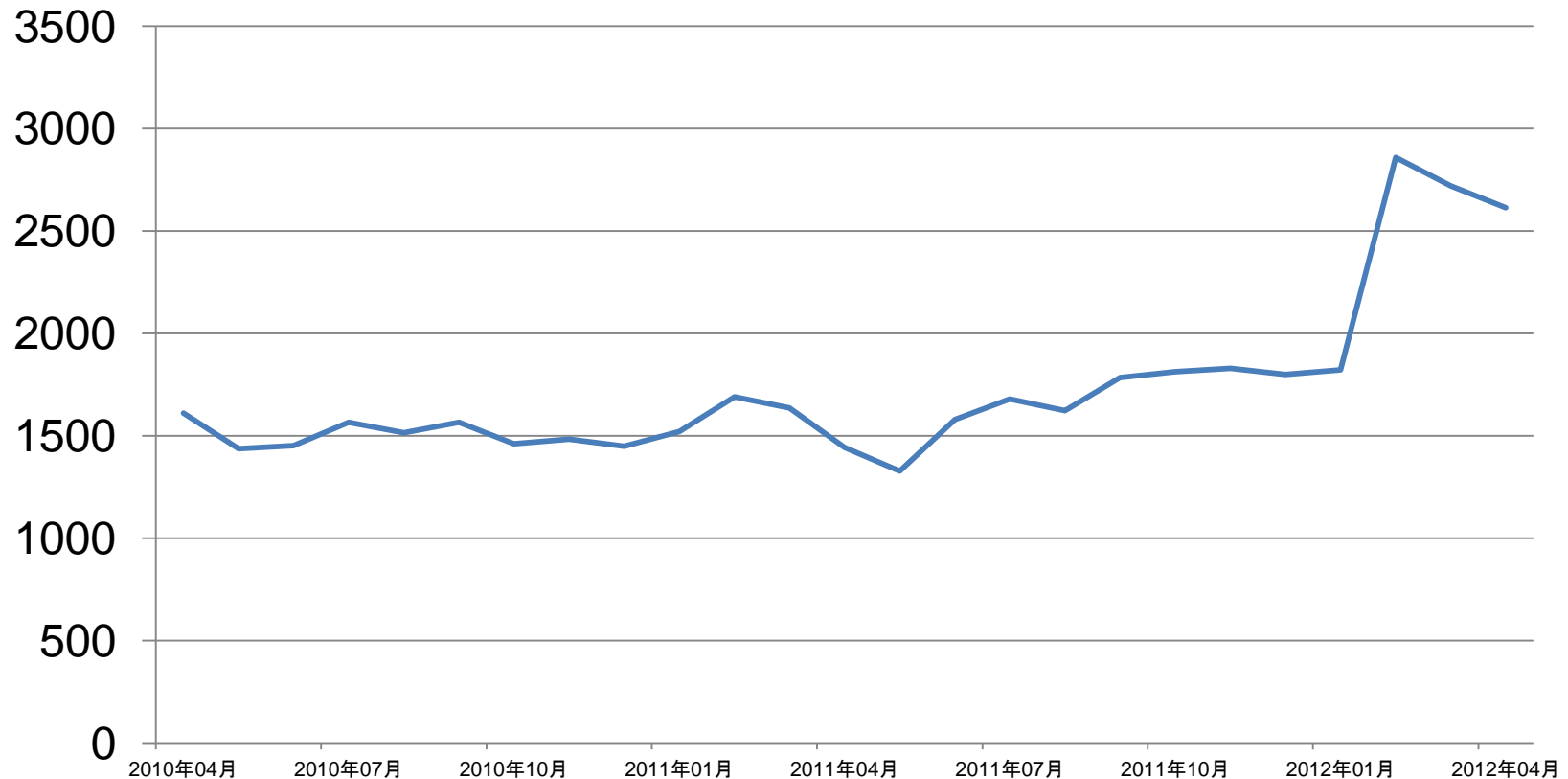
当社は平成23年10月期より決算期を4月から10月に変更しております。

そのため平成23年10月期は6ヶ月間の変則決算となっております。

株価の推移

(2010年4月～2012年4月、月終値)

(単位:円)



5. トピックス

新本社ビル完成予想図1 (平成26年7月竣工予定)



新本社ビル完成予想図2



6. 質疑応答

ご清聴ありがとうございました。

株式会社ソフトウェア・サービス

代表取締役社長 宮崎 勝

取締役経営管理部長 伊藤 純一郎